

九州栄養福祉大学リハビリテーション学部の3つのポリシー

▷ アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

リハビリテーション学部は、リハビリテーションを通して福祉を実現し、健康生活の番人を目指す療法士（セラピスト）の育成を目指しています。よって、以下のような学生を求めています。

1. 本学の建学の精神・教育理念、本学の教育目標に賛同する人
2. リハビリテーションを通して「健康生活の番人」を目指す人
3. 人と関わるのが好きで、優しさや誠実さをもって他者へ接することができる人
4. 明確な目的意識を持ち、医学について積極的かつ継続的に学ぶ努力を惜しまない人

▷ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 「勇気・親和・愛・知性」の調和のとれた人間性を養うために様々な基礎教養科目ならびに行事教育を取り入れる
2. 理学療法と作業療法に関する専門科目を設置すると共に、各学科の特徴に即した幅広い分野の科目を配置する
3. 学外での臨床実習に関する科目を配置し、各学科の専門科目群と臨床実習を有機的に結びつける
4. 科学的・論理的思考能力を養うために各学科において臨床データの取り扱い方や臨床的介入における統計学的分析方法等の科目を設置する

▷ ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

1. 建学の精神に基づく高い倫理観と豊かな人間性（勇気・親和・愛・知性）を身につけている
2. リハビリテーション分野に関する医学的知識を修得し、専門的な知識と技術を有している
3. 保健・医療・福祉の幅広い領域において、セラピストの科学性と創造性を発揮して、地域の人々における健康生活やQOLに科学的に貢献できる
4. 自らの課題や問題解決のために、他者と協働して調査や研究を実践して、各分野の発展に貢献できる能力を有している